

結 果 の 概 要

I 刑務所・拘置所等

1 被收容者

(1) 収容状況

最近 10 年間の全国の刑務所及び拘置所の 1 日平均収容人員の推移は、第 1 表のとおりである。平成 20 年から連続して減少していたが、令和 7 年は前年に比べ 703 人（1.7%）増加した 41,154 人（男 37,439 人、女 3,715 人）となっている。

第 1 表 1 日平均収容人員の推移

区 分	平成28年	29	30	令和元年	2	3	4	5	6	7
総 数	57,369	54,876	51,947	49,562	47,332	45,680	43,166	40,853	40,451	41,154
男	52,565	50,255	47,623	45,448	43,309	41,694	39,342	37,236	36,814	37,439
女	4,805	4,620	4,323	4,114	4,023	3,985	3,824	3,617	3,637	3,715
対 前 年 比	-3.9	-4.3	-5.3	-4.6	-4.5	-3.5	-5.5	-5.4	-1.0	1.7

(注) 1 統計表の構成比、指数等は、それぞれ四捨五入している。したがって、合計とその内訳が一致しない場合がある。（以下この結果の概要において同じ。）

2 刑務所・拘置所等（以下記載を省略）の 2 表（法務省ホームページにおける統計表番号「25-00-02」。以下統計表番号のみを記載）参照

令和 7 年における 1 日平均収容人員の内訳は、第 2 表のとおりである。被收容者の種別で見ると、受刑者が 34,084 人（82.8%）、次いで、被告人が 6311 人（15.3%）、労役場留置者が 573 人（1.4%）の順となっている。

第 2 表 1 日平均収容人員の内訳

区 分	総 数	受 刑 者	死 刑 確 定 者	被 告 人	被 疑 者	労 役 場 留 置 者	そ の 他
人 員	41,154	34,084	106	6,311	77	573	2
（ 構 成 比 ）	(100.0)	(82.8)	(0.3)	(15.3)	(0.2)	(1.4)	(0.0)
対 前 年 比	1.7	0.9	-1.9	6.1	-4.9	7.5	-

(注) 2 表（「25-00-02」）参照

(2) 年末収容人員

最近 10 年間の年末における収容人員の推移は、第 3 表のとおりである。収容率（年末における収容定員に対する年末収容人員の比率）は、平成 13 年から同 18 年まで 6 年連続して 100%を超過していたが、同 19 年から 19 年連続して 100%を下回っている。

第 3 表 年末収容人員の推移

区 分	平成28年	29	30	令和元年	2	3	4	5	6	7
年末収容人員	55,967	53,233	50,578	48,429	46,524	44,545	41,540	40,178	40,543	41,595
収 容 定 員	89,395	88,670	88,591	87,825	87,679	88,250	85,680	85,029	81,204	79,992
収 容 率	62.6	60.0	57.1	55.1	53.1	50.5	48.5	47.3	49.9	52.0

(注) 3 表（「25-00-03」）参照

(3) 入・出所人員

最近 10 年間の入・出所人員の推移は、第 4 表のとおりである。刑務所及び拘置所の入所人員は、平成 16 年以降減少傾向であったが、昨年に引き続き、令和 7 年は前年に比べ 447 人（1.5%）増加した 30,022 人（男 26,806 人、女 3,216 人）となっている。出所人

員は、平成 17 年以降減少傾向であり、令和 7 年は前年に比べ 238 人（0.8%）減少した 28,971 人（男 25,790 人、女 3,181 人）となっている。

第 4 表 入・出所人員の推移

区 分	平成28年	29	30	令和元年	2	3	4	5	6	7
入 所 人 員 (指 数)	39,043 (100)	36,994 (95)	36,026 (92)	34,615 (89)	31,719 (81)	30,025 (77)	26,512 (68)	27,772 (71)	29,575 (76)	30,022 (77)
出 所 人 員 (指 数)	41,573 (100)	39,728 (96)	38,680 (93)	36,764 (88)	33,624 (81)	32,004 (77)	29,516 (71)	29,134 (70)	29,209 (70)	28,971 (70)

(注) 14表(「25-00-14」)参照

(4) 外国人被収容者

最近 10 年間の年末収容人員のうち、外国人被収容者人員の推移は、第 5 表のとおりである。令和 7 年の年末における外国人被収容者人員は、前年に比べ 332 人（10.8%）増加した 3,408 人となり、外国人受刑者人員は、149 人（6.7%）増加した 2,376 人となっている。

第 5 表 年末収容人員のうち外国人被収容者人員の推移

区 分	平成28年	29	30	令和元年	2	3	4	5	6	7
年末収容人員(A)	55,967	53,233	50,578	48,429	46,524	44,545	41,540	40,178	40,544	41,595
うち、外国人被収容者人員(B)	3,041	2,941	2,851	2,862	2,888	2,734	2,761	2,791	3,076	3,408
うち、外国人受刑者人員	2,491	2,384	2,281	2,174	2,150	2,136	2,181	2,128	2,227	2,376
年末収容人員に占める比率 〔(B)/(A)×100〕	5.4	5.5	5.6	5.9	6.2	6.1	6.6	6.9	7.6	8.2

(注) 3表(「25-00-03」)及び8表(「25-00-08」)参照

令和 7 年の年末在所外国人被収容者の内訳は、第 6 表のとおりである。

このうち、来日外国人は 2,779 人であり、外国人被収容者年末収容人員に占める割合は 81.5%となっている。

第 6 表 年末在所外国人被収容者の内訳

区 分	総 数	受 刑 者	未 決 拘 禁 者	そ の 他
外 国 人 被 収 容 者 年 末 収 容 人 員	3,408	2,376	949	83
うち、来日外国人	2,779	1,850	849	80

(注) 8表(「25-00-08」)及び9表(「25-00-09」)参照

令和 7 年の年末在所来日外国人被収容者の国籍は、第 7 表のとおりである。国別の人員総数は、ベトナムが 682 人（24.5%）と最も多く、次いで、中国が 510 人（18.4%）、ブラジルが 262 人（9.4%）、タイが 120 人（4.3%）の順となっている。

第 7 表 年末在所来日外国人被収容者の国籍

区 分	総数	ベトナム	中国	ブラジル	タイ	フィリ ピ ン	マレー シ ア	メキシコ	アメリカ 合 衆 国	韓国・ 朝 鮮	ペルー	イラン	スリラ ン カ	その他
人 員 数	2,779	682	510	262	120	114	92	72	70	67	62	55	50	623
男	2,407	629	440	217	67	84	72	53	51	62	57	54	50	571
女	372	53	70	45	53	30	20	19	19	5	5	1	-	52
構 成 比 率	100.0	24.5	18.4	9.4	4.3	4.1	3.3	2.6	2.5	2.4	2.2	2.0	1.8	22.4
男	100.0	26.1	18.3	9.0	2.8	3.5	3.0	2.2	2.1	2.6	2.4	2.2	2.1	23.7
女	100.0	14.2	18.8	12.1	14.2	8.1	5.4	5.1	5.1	1.3	1.3	0.3	-	14.0

(注) 9表(「25-00-09」)参照

2 新受刑者

(1) 新受刑者の収容状況

最近 10 年間の新受刑者人員の推移は、第 8 表のとおりである。新受刑者人員の総数は、平成 4 年から同 18 年まで 15 年連続して増加し、同 19 年から令和 5 年まで 17 年連続して減少していたが、昨年に引き続き、令和 7 年は前年と比べ 179 人（1.2％）増加した 15,001 人（男 13,407 人、女 1,594 人）となっている。

第 8 表 新受刑者人員の推移

区	分	平成28年	29	30	令和元年	2	3	4	5	6	7
人	員										
総	数	20,467	19,336	18,272	17,464	16,620	16,152	14,460	14,085	14,822	15,001
男		18,462	17,444	16,503	15,746	14,850	14,486	12,906	12,599	13,265	13,407
女		2,005	1,892	1,769	1,718	1,770	1,666	1,554	1,486	1,557	1,594
指	数										
総	数	100	94	89	85	81	79	71	69	72	73
男		100	94	89	85	80	78	70	68	72	73
女		100	94	88	86	88	83	78	74	78	80

（注） 18表（「25-00-18」）参照

(2) 新受刑者の年齢

令和 7 年における新受刑者の年齢別人員は、第 9 表のとおりである。年齢別の構成比で見ると、50～54 歳が 11.0％（1,650 人）と最も高く、次いで 25～29 歳が 10.8％（1,620 人）、45～49 歳が 10.4％（1,566 人）の順となっている。

第 9 表 新受刑者の年齢別人員

区	分	総数	20歳未満	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上
人	員													
総	数	15,001	32	1,043	1,620	1,469	1,419	1,530	1,566	1,650	1,498	1,094	714	1,366
男		13,407	31	971	1,494	1,331	1,273	1,383	1,401	1,471	1,344	968	640	1,100
女		1,594	1	72	126	138	146	147	165	179	154	126	74	266
構	成													
比	数													
総	数	100.0	0.2	7.0	10.8	9.8	9.5	10.2	10.4	11.0	10.0	7.3	4.8	9.1
男		100.0	0.2	7.2	11.1	9.9	9.5	10.3	10.4	11.0	10.0	7.2	4.8	8.2
女		100.0	0.1	4.5	7.9	8.7	9.2	9.2	10.4	11.2	9.7	7.9	4.6	16.7
前	年													
比	数													
総	数	1.2	18.5	1.5	1.8	0.7	-4.8	-2.4	-0.6	0.0	6.8	11.4	5.2	-0.3
男		1.1	19.2	0.5	0.9	-0.4	-4.1	-1.5	-0.1	0.4	7.3	8.4	7.6	-1.5
女		2.4	-	16.1	13.5	12.2	-9.9	-9.8	-5.2	-3.2	2.7	41.6	-11.9	5.1

（注） 22表（「25-00-22」）参照

また、最近 10 年間の新受刑者のうち 60 歳以上人員の推移は、第 10 表のとおりである。令和 7 年における新受刑者のうち 60 歳以上人員の総数は、前年と比べ 143 人増加した 3,174 人（男 2,708 人、女 466 人）となっている。

第 10 表 新受刑者のうち 60 歳以上人員の推移

区	分	平成28年	29	30	令和元年	2	3	4	5	6	7
人	員										
総	数	3,750	3,489	3,294	3,296	3,160	3,284	2,917	2,978	3,031	3,174
男		3,278	2,999	2,897	2,869	2,726	2,848	2,493	2,544	2,605	2,708
女		472	490	397	427	434	436	424	434	426	466
構	成										
比	数										
総	数	18.3	18.0	18.0	18.9	19.0	20.3	20.2	21.1	20.4	21.2
男		17.8	17.2	17.6	18.2	18.4	19.7	19.3	20.2	19.6	20.2
女		23.5	25.9	22.4	24.9	24.5	26.2	27.3	29.2	27.4	29.2

（注） 22表（「25-00-22」）参照

(3) 新受刑者の罪名

令和7年における新受刑者の罪名別人員は、第11表のとおりである。罪名別の構成比で見ると、窃盗が35.9%（5,387人）と最も高く、次いで、覚醒剤取締法違反が19.4%（2,911人）、詐欺が9.2%（1,376人）、道路交通法違反が4.7%（705人）、傷害が3.9%（579人）、不同意わいせつ・不同意性交等が3.2%（478人）の順となっている。

第11表 新受刑者の罪名別人員							
区	分	総数	構成比	男	構成比	女	構成比
総	数	15,001	100.0	13,407	100.0	1,594	100.0
刑	犯	9,865	65.8	8,779	65.5	1,086	68.1
放	火	86	0.6	72	0.5	14	0.9
文	等	46	0.3	44	0.3	2	0.1
書	造	478	3.2	474	3.5	4	0.3
偽	交	9	0.1	8	0.1	1	0.1
同	等	159	1.1	133	1.0	26	1.6
意	人	579	3.9	559	4.2	20	1.3
わ	害	53	0.4	51	0.4	2	0.1
い	傷	197	1.3	177	1.3	20	1.3
せ	死	5,387	35.9	4,591	34.2	796	49.9
つ	死	266	1.8	259	1.9	7	0.4
・	盗	1,376	9.2	1,241	9.3	135	8.5
同	欺	80	0.5	78	0.6	2	0.1
意	喝	226	1.5	195	1.5	31	1.9
性	任	94	0.6	91	0.7	3	0.2
交	他	829	5.5	806	6.0	23	1.4
等							
が							
の							
に							
関							
する							
法律							
他							
特	別	5,136	34.2	4,628	34.5	508	31.9
銃	法	34	0.2	33	0.2	1	0.1
砲	取	8	0.1	5	0.0	3	0.2
刀	締	70	0.5	68	0.5	2	0.1
剣	法						
類	法						
所持	法						
等	法						
取	法						
締	法						
法	法						
違反	法						
覚	法						
醒	法						
剤	法						
取締	法						
法	法						
違反	法						
人員	法						
の	法						
推移	法						
人員	法						
の	法						
推移	法						
人員	法						
の	法						
推移	法						
人員	法						
の	法						
推移	法						
人員	法						
の	法						
推移	法						
人員	法						
の	法						
推移	法						
人員	法						
の	法						
推移	法						
人員	法						
の	法						
推移	法						
人員	法						
の	法						
推移	法						
人員	法						
の	法						
推移	法						
人員	法						
の	法						
推移	法						
人員	法						
の	法						
推移	法						
人員	法						
の	法						
推移	法						
人員	法						
の	法						
推移	法						
人員	法						
の	法						
推移	法						
人員	法						
の	法						
推移	法						
人員	法						
の	法						
推移	法						
人員	法						
の	法						
推移	法						
人員	法						
の	法						
推移	法						
人員	法						
の	法						
推移	法						
人員	法						
の	法						
推移	法						
人員	法						
の	法						
推移	法						
人員	法						
の	法						
推移	法						
人員	法						
の	法						
推移	法						
人員	法						
の	法						
推移	法						
人員	法						
の	法						
推移	法						
人員	法						
の	法						
推移	法						
人員	法						
の	法						
推移	法						
人員	法						
の	法						
推移	法						
人員	法						
の	法						
推移	法						
人員	法						
の	法						
推移	法						
人員	法						
の	法						
推移	法						
人員	法						
の	法						
推移	法						
人員	法						
の	法						
推移	法						
人員	法						
の	法						
推移	法						
人員	法						
の	法						
推移	法						
人員	法						
の	法						
推移	法						
人員	法						
の	法						
推移	法						
人員	法						
の	法						
推移	法						
人員	法						
の	法						
推移	法						
人員	法						
の	法						
推移	法						
人員	法						
の	法						
推移	法						
人員	法						
の	法						
推移	法						
人員	法						
の	法						
推移	法						
人員	法						
の	法						
推移	法						
人員	法						
の	法						
推移	法						
人員	法						
の	法						
推移	法						
人員	法						
の	法						
推移	法						
人員	法						
の	法						
推移	法						
人員	法						
の	法						
推移	法						
人員	法						
の	法						
推移	法						
人員	法						
の	法						
推移	法						
人員	法						
の	法						
推移	法						
人員	法						
の	法						
推移	法						
人員	法						
の	法						
推移	法						
人員	法						
の	法						
推移	法						
人員	法						
の	法						
推移	法						
人員	法						
の	法						
推移	法						
人員	法						
の	法						
推移	法						
人員	法						
の	法						
推移	法						
人員	法						
の	法						
推移	法						
人員	法						
の	法						
推移	法						
人員	法						
の	法						
推移	法						
人員	法						
の	法						
推移	法						
人員	法						
の	法						
推移	法						
人員	法						
の	法						
推移	法						
人員	法						
の	法						
推移	法						
人員	法						
の	法						
推移	法						
人員	法						
の	法						
推移	法						
人員	法						
の	法						
推移	法						
人員	法						
の	法						
推移	法						
人員	法						
の	法						
推移	法						
人員	法						
の	法						
推移	法						
人員	法						
の	法						
推移	法						
人員	法						
の	法						
推移	法						
人員	法						
の	法						
推移	法						
人員	法						
の	法						
推移	法						

(4) 新受刑者の刑名・刑期

令和 7 年における新受刑者の刑名別人員は、第 13 表のとおりである。

第13表 新受刑者の刑名別人員

区 分	総 数	拘 禁	刑 懲	役 禁	錮 拘	留 留	旧 拘	留 死	刑
人 員	15,001	1,795	13,161	43	-	1	1		
(構 成 比)	(100.0)	(12.0)	(87.7)	(0.3)	(-)	(0.0)	(0.0)		(0.0)

(注) 19表(「25-00-19」)参照

このうち、拘禁刑、懲役及び禁錮受刑者の刑期別人員は、第 14 表のとおりである。拘禁刑受刑者の刑期別人員は、2 年以下が、735 人(40.9%)と最も多く、次いで、1 年以下が 551 人(30.7%)、3 年以下が 380 人(21.2%)となっている。懲役受刑者の刑期別人員は、2 年以下が 4,260 人(32.4%)と最も多く、次いで、3 年以下が 3,003 人(22.8%)、1 年以下が 2,736 人(20.8%)となっている。禁錮受刑者については、2 年以下が 21 人(48.8%)と最も多い。

第14表 新受刑者のうち拘禁刑、懲役及び禁錮受刑者の刑期別人員

区 分	総 数	1 年 以 下	2 年 以 下	3 年 以 下	5 年 以 下	5 年 を 超 え る	無 期
拘 禁 刑 人 員	1,795	551	735	380	114	15	-
(構 成 比)	(100.0)	(30.7)	(40.9)	(21.2)	(6.4)	(0.8)	(-)
懲 役 人 員	13,161	2,736	4,260	3,003	2,173	974	15
(構 成 比)	(100.0)	(20.8)	(32.4)	(22.8)	(16.5)	(7.4)	(0.1)
禁 錮 人 員	43	10	21	10	2	-	-
(構 成 比)	(100.0)	(23.3)	(48.8)	(23.3)	(4.7)	(-)	(-)

(注) 19表(「25-00-19」)参照

(5) 新受刑者の入所度数

令和 7 年における新受刑者の入所度数別人員は、第 15 表のとおりである。

第15表 新受刑者の入所度数別人員

区 分	総 数	初 度	2 度	3 度	4 度	5 度	6 度 以 上
人 員	15,001	7,237	2,187	1,290	1,015	825	2,447
(構 成 比)	(100.0)	(48.2)	(14.6)	(8.6)	(6.8)	(5.5)	(16.3)
対 前 年 比	1.2	5.4	-1.3	-11.5	-2.6	-3.6	2.5

(注) 23表(「25-00-23」)参照

次に、最近 10 年間の新受刑者のうち、初入者及び再入者人員の推移は、第 16 表のとおりである。初入者は、平成 17 年から減少傾向を示していたが、令和 5 年から増加し始めた。また、平成 18 年から 19 年連続して再入者が初入者を上回っている。

第16表 新受刑者のうち初入者・再入者人員の推移

区 分	平成28年	29	30	令和元年	2	3	4	5	6	7
総 数	20,467	19,336	18,272	17,464	16,620	16,152	14,460	14,085	14,822	15,001
初 入 者	8,288	7,860	7,370	7,277	6,980	6,949	6,280	6,337	6,865	7,237
(構 成 比)	(40.5)	(40.6)	(40.3)	(41.7)	(42.0)	(43.0)	(43.4)	(45.0)	(46.3)	(48.2)
再 入 者	12,179	11,476	10,902	10,187	9,640	9,203	8,180	7,748	7,957	7,764
(構 成 比)	(59.5)	(59.4)	(59.7)	(58.3)	(58.0)	(57.0)	(56.6)	(55.0)	(53.7)	(51.8)

(注) 23表(「25-00-23」)参照

(6) 新受刑者のうち初入受刑者の保護処分歴・刑の執行猶予歴

令和7年の新受刑者のうち、初入受刑者の保護処分歴・刑の執行猶予歴別人員は、第17表のとおりである。保護処分歴を有する者は925人（12.8％）、刑の執行猶予歴を有する者は4,116人（56.9％）となっている。

第17表 初入受刑者の保護処分歴・刑の執行猶予歴別人員

区 分	総 数	保 護 処 分 歴					刑の執行猶予歴	
		あ	り	少年院送致 への収容	第5種少年院 児童自立支援 施設・児童養 護施設送致	保 護 観 察	な し	あ り
人 員 (構 成 比)	7,237 (100.0)	925 (12.8)	483 (6.7)	-	20 (0.3)	422 (5.8)	6,312 (87.2)	4,116 (56.9)
								3,121 (43.1)

(注) 30表（「25-00-30」）参照

(7) 新受刑者の矯正処遇課程

令和7年における新受刑者の矯正処遇課程別人員は、第18表のとおりである。高齢や障害等により福祉的支援を要するDS課程、DH課程及びDM課程は988人（10.0％）となっている。

第18表 矯正処遇課程

矯 正 処 遇 課 程	総数	構成比
総 数	9,855	100.0
拘 留 課 程 (D 課 程)	-	-
少年院在院受刑者処遇課程 (J t 課 程)	-	-
短期処遇課程 (S T 課 程)	228	2.3
外国人処遇課程 (一 般) (F 課 程)	249	2.5
外国人処遇課程 (特 別) (F X 課 程)	156	1.6
外国人処遇課程 (条 約) (F Z 課 程)	18	0.2
禁 錮 課 程 (I 課 程)	18	0.2
少 年 処 遇 課 程 (J 課 程)	16	0.2
高 齢 福 祉 課 程 (D S 課 程)	452	4.6
福祉的支援課程 (知的障害・発達障害) (DH課程)	504	5.1
福祉的支援課程 (精神上の疾病又は障害) (DM課程)	32	0.3
長 期 処 遇 課 程 1 (L 1 課 程)	3	0.0
長 期 処 遇 課 程 2 (L 2 課 程)	56	0.6
長 期 処 遇 課 程 3 (L 3 課 程)	13	0.1
長 期 処 遇 課 程 4 (L 4 課 程)	6	0.1
依 存 症 回 復 処 遇 課 程 (A 課 程)	77	0.8
開 放 的 処 遇 課 程 (O 課 程)	66	0.7
若 年 処 遇 課 程 1 (Y 1 課 程)	28	0.3
若 年 処 遇 課 程 2 (Y 2 課 程)	510	5.2
若 年 処 遇 課 程 3 (Y 3 課 程)	157	1.6
一 般 処 遇 課 程 1 (G 1 課 程)	369	3.7
一 般 処 遇 課 程 2 (G 2 課 程)	2,711	27.5
一 般 処 遇 課 程 3 (G 3 課 程)	3,898	39.6
一 般 処 遇 課 程 4 (G 4 課 程)	288	2.9

(注) 35表-2（「25-00-35-2」）参照

(8) 新受刑者のうち暴力団加入者人員

最近10年間の新受刑者のうち、暴力団加入者人員の推移は、第19表のとおりである。
令和7年は前年に比べ80人減少した508人となり、新受刑者に占める構成比は3.4%となっている。

第19表 新受刑者のうち暴力団加入者人員の推移

区 分	平成28年	29	30	令和元年	2	3	4	5	6	7
総 数	20,467	19,336	18,272	17,464	16,620	16,152	14,460	14,085	14,822	15,001
人 員	1,386	1,194	1,088	913	775	676	604	654	588	508
(構 成 比)	(6.8)	(6.2)	(6.0)	(5.2)	(4.7)	(4.2)	(4.2)	(4.6)	(4.0)	(3.4)

(注) 46表(「25-00-46」)参照

3 再入受刑者

(1) 再入受刑者の再犯期間

最近 10 年間の再入受刑者（前刑出所前の犯罪により再入所した者を除く。）の再犯期間（前回の刑の執行を受けて出所した日から再入に係る罪を犯した日までの期間）別人員の推移は、第 20 表のとおりである。令和 7 年は 1 年未満が 2,472 人（32.4%）と最も多く、次いで、2 年未満が 1,466 人（19.2%）、5 年以上が 1,438 人（18.9%）の順となっている。

第20表 再入受刑者の再犯期間別人員の推移

区 分	総 数	再 犯 期 間									
		1 年未満		うち、3 月未満		2 年未満		3 年未満		4 年未満	
		人員	(構成比)	人員	(構成比)	人員	(構成比)	人員	(構成比)	人員	(構成比)
平成28年	12,018	4,465	(37.2)	1,302	(10.8)	2,492	(20.7)	1,598	(13.3)	998	(8.3)
29	11,325	4,228	(37.3)	1,228	(10.8)	2,357	(20.8)	1,425	(12.6)	952	(8.4)
30	10,788	3,967	(36.8)	1,115	(10.3)	2,279	(21.1)	1,307	(12.1)	905	(8.4)
令和元年	10,041	3,699	(36.8)	1,079	(10.7)	2,105	(21.0)	1,265	(12.6)	834	(8.3)
2	9,487	3,314	(34.9)	925	(9.8)	2,020	(21.3)	1,257	(13.2)	840	(8.9)
3	9,045	3,107	(34.4)	852	(9.4)	1,808	(20.0)	1,253	(13.9)	789	(8.7)
4	8,033	2,843	(35.4)	763	(9.5)	1,596	(19.9)	990	(12.3)	727	(9.1)
5	7,599	2,544	(33.5)	695	(9.1)	1,540	(20.3)	1,006	(13.2)	699	(9.2)
6	7,810	2,566	(32.9)	729	(9.3)	1,582	(20.3)	1,015	(13.0)	736	(9.4)
7	7,628	2,472	(32.4)	652	(8.5)	1,466	(19.2)	1,012	(13.3)	697	(9.1)

(注) 54表（「25-00-54」）参照

(2) 再入状況

令和 2 年の出所受刑者 18,931 人（国際受刑者移送法により送出移送した者等を除く。）について、令和 7 年末までの再入状況は、第 21 表のとおりである。令和 7 年までの 6 年以内に再入所した者は、計 7,014 人（37.1%）となっている。また、「満期釈放」と「仮釈放」の別に 6 年以内再入者を比較すると、「満期釈放」は 3,564 人（46.1%）、「仮釈放」は 3,450 人（30.8%）となっている。

第21表 令和2年出所受刑者の令和7年末までの再入状況

第21表 令和2年出所受刑者の令和7年までの再入状況															
出所事由	令和2年 出所受刑 者	再入年別人員及び構成比								計					
		令和2年		3	4	5	6	7							
		人員	(構成比)	人員	(構成比)	人員	(構成比)	人員	(構成比)		人員	(構成比)			
総数	18,931	639	(3.4)	2,224	(11.7)	1,654	(8.7)	1,110	(5.9)	811	(4.3)	576	(3.0)	7,014	(37.1)
満期釈放	7,728	479	(6.2)	1,270	(16.4)	783	(10.1)	469	(6.1)	340	(4.4)	223	(2.9)	3,564	(46.1)
仮釈放	11,195	160	(1.4)	954	(8.5)	871	(7.8)	641	(5.7)	471	(4.2)	353	(3.2)	3,450	(30.8)

(注) 1 「満期釈放」は実刑期終了（一部猶予あり）を含み、「仮釈放」は仮釈放（一部猶予あり）を含む。

2 63表（「25-00-63」）及び64表（「25-00-64」）参照

(3) 出所後 6 年以内に再入所した者の推移

出所後 6 年以内に再入所した者（出所受刑者のうち、国際受刑者移送法により送出移送した者等を除く。）の推移は、第 22 表のとおりである。再入率については、平成 21 年出所者から横ばいとなっていたものの、平成 28 年出所者から減少傾向となっている。

第22表 出所後6年以内に再入所した者の推移

区 分	出 所 年									
	平成23年	24	25	26	27	28	29	30	令和元年	2
出 所 受 刑 者	28,558	27,463	26,510	24,651	23,523	22,909	21,998	21,032	19,953	18,931
(うち、再入人員)	(11,819)	(11,254)	(10,824)	(10,111)	(9,409)	(9,027)	(8,759)	(7,868)	(7,364)	(7,014)
再 入 率	41.4	41.0	40.8	41.0	40.0	39.4	39.8	37.4	36.9	37.1

(注) 63表（「25-00-63」）及び64表（「25-00-64」）参照

4 出所受刑者

(1) 出所受刑者の人員及び出所事由

最近 10 年間の出所受刑者の出所事由別人員の推移は、第 23 表のとおりである。令和 7 年における出所受刑者人員の総数は 14,487 人であり、前年に比べ 582 人（3.9%）減少している。男女別に見ると、男が 12,909 人（95.1%）で減少しており、女が 1,578 人（106.0%）で増加した。さらに、出所事由別に見ると、満期釈放が 5,556 人（38.4%）、実刑期終了（一部猶予あり）が 94 人（0.6%）、仮釈放（一部猶予なし）が 8,344 人（57.6%）、仮釈放（一部猶予あり）が 473 人（3.3%）、国際受刑者移送法による送出国受刑者等が 20 人（0.1%）となっている。

第23表 出所受刑者の出所事由別人員の推移

区	分	平成28年	29	30	令和元年	2	3	4	5	6	7
人	員										
総	数	22,947	22,025	21,060	19,993	18,931	17,809	17,143	16,233	15,069	14,487
	男	20,738	19,824	19,010	18,095	17,039	16,093	15,365	14,465	13,580	12,909
	女	2,209	2,201	2,050	1,898	1,892	1,716	1,778	1,768	1,489	1,578
指	数										
総		100	96	92	87	82	78	75	71	66	63
	男	100	96	92	87	82	78	74	70	65	62
	女	100	100	93	86	86	78	80	80	67	71
出	所										
所	事										
事	由										
別											
満	期	9,649	9,159	8,523	8,018	7,440	6,676	6,293	5,862	5,480	5,556
釈	放										
（	構	(42.0)	(41.6)	(40.5)	(40.1)	(39.3)	(37.5)	(36.7)	(36.1)	(36.4)	(38.4)
成	比										
）											
実	刑	-	79.0	210	295	288	287	187	129	112	94
期	終										
了	了										
（	構	(-)	(0.4)	(1.0)	(1.5)	(1.5)	(1.6)	(1.1)	(0.8)	(0.7)	(0.6)
成	比										
）											
仮	釈	13,260	12,477	11,307	10,442	9,994	9,740	9,635	9,468	8,894	8,344
放	放										
（	構	(57.8)	(56.9)	(54.0)	(52.5)	(52.8)	(54.7)	(56.2)	(58.3)	(59.0)	(57.6)
成	比										
）											
仮	釈	-	283	992	1,198	1,201	1,090	1,001	743	554	473
放	放										
（	構	(-)	(1.3)	(4.7)	(6.0)	(6.3)	(6.1)	(5.8)	(4.6)	(3.7)	(3.3)
成	比										
）											
送	出	38	27	28	40	8	16	27	31	29	20
移	送										
等											
（	構	(0.2)	(0.1)	(0.1)	(0.2)	(0.0)	(0.1)	(0.2)	(0.2)	(0.2)	(0.1)
成	比										
）											

(注) 67表（「25-00-67」）参照

(2) 出所受刑者のうち仮釈放者の刑の執行状況

ア 有期懲役受刑者

令和 7 年における有期懲役受刑者のうち仮釈放者 8,688 人（仮釈放が取り消されて刑の執行を受け、更に仮釈放を許された者を除く。）についての刑の執行率は、第 24 表のとおりである。刑の執行率 80～89%が 3,781 人（43.5%）と最も多く、次いで、90%以上が 3,327 人（38.3%）となっている。

第24表 有期懲役受刑者のうち仮釈放者の刑の執行率

区	分	総	刑	の	執	行	率
人	員	数	59%以下	60～69%	70～79%	80～89%	90%以上
（	構	8,688	4	128	1,448	3,781	3,327
成	比	(100.0)	0.0	(1.5)	(16.7)	(43.5)	(38.3)
）							
対	前	-6.7	300.0	47.1	-7.6	-13.3	0.9
年	比						

(注) 70表（「25-00-70」）参照

有期懲役受刑者の仮釈放者のうち、刑の執行率 80%以上の者についての刑期別人員は、第 25 表のとおりである。総数では 7,108 人（81.8%）、刑期 1 年以下では 656 人（90.5%）、2 年以下では 2,348 人（75.4%）、3 年以下では 2,173 人（80.4%）となっており、令和 6 年の総数 7,660 人（82.2%）と比べて執行率の高い者の割合がやや減少している。

第25表 有期懲役受刑者の仮釈放者のうち刑の執行率80%以上の刑期別人員

区 分	総 数	刑 期				
		1年以下	2年以下	3年以下	5年以下	5年を超える
有期懲役仮釈放者 うち、刑の執行率 80%以上の人員	8,688	725	3,114	2,703	1,522	624
有期懲役刑仮釈放者 に占める比率	7,108	656	2,348	2,173	1,342	589
	81.8	90.5	75.4	80.4	88.2	94.4

(注) 70表(「25-00-70」)参照

イ 無期受刑者

令和7年における無期受刑者のうち仮釈放者(仮釈放が取り消されて刑の執行を受け、更に仮釈放を許された者を除く。)3人について、その受刑在所期間は、第26表のとおりである。

第26表 無期受刑者のうち仮釈放者の受刑在所期間

区 分	総 数	14年以下	15年以下	16年以下	17年以下	18年以下	19年以下	20年以下	20年を超える
人 員	3	-	-	-	-	-	-	-	3
(構成比)	(100.0)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(100.0)

(注) 69表(「25-00-69」)参照

(3) 出所受刑者の刑務作業及び職業訓練など

令和7年における出所受刑者について、その在所時の刑務作業の業種別就業人員は、第27表のとおりである。業種別に見ると、経理作業(刑務所などの自主運営に必要な作業で、炊事、清掃、介助などの作業)が3,183人(22.0%)と最も多く、次いで、紙・紙製品製造が1,724人(11.9%)、織物製品製造が1,670人(11.5%)、化学製品製造が1,628人(11.2%)の順となっている。

第27表 出所受刑者の刑務作業の業種別就業人員

業 種	人 員	構成比	人員の対前年比
総 数	14,487	100.0	-3.9
農 耕 ・ 牧 畜	96	0.7	23.1
金 属 材 料 製 造	174	1.2	-25.3
金 属 加 工 ・ 機 械 組 立 修 理	718	5.0	-6.9
電 気 器 具 組 立 修 理	275	1.9	-17.9
製 糸 ・ 紡 績	10	0.1	25.0
織 物 製 品 製 造	1,670	11.5	-9.4
木 工	554	3.8	4.7
紙 ・ 紙 製 品 製 造	1,724	11.9	6.6
印 刷 ・ 製 本	205	1.4	9.6
ゴ ム ・ 可 塑 物 製 品 製 造	269	1.9	4.7
皮 革 ・ 皮 革 製 品 製 造	216	1.5	-2.3
飲 食 料 品 製 造	108	0.7	-22.3
化 学 製 品 製 造	1,628	11.2	-3.8
建 設 作 業	14	0.1	-36.4
紙 細 工	730	5.0	-2.0
そ の 他 の 技 能 工	19	0.1	-44.1
サ ー ビ ス 工 業	44	0.3	37.5
経 理 作 業	3,183	22.0	-8.7
そ の 他	2,833	19.6	0.5
不 就 業	17	0.1	0.0

(注) 72表(「25-00-72」)参照

令和7年における出所受刑者の職業訓練種目別人員は、第28表のとおりである。総数2,564人（出所受刑者総数の17.7%）の受講種目の主な内訳を見ると、フォークリフト運転が287人（11.2%）と最も多く、次いで、情報処理が233人（9.1%）、ホームヘルパーが139人（5.4%）、ビル設備管理が126人（4.9%）の順となっている。

第28表 出所受刑者の職業訓練種目別人員			
業種	種数	人員	構成比
総		2,564	100.0
フォークリフト運転		287	11.2
情報処理		233	9.1
ホームヘルパー		139	5.4
ビル設備管理		126	4.9
建設機械		124	4.8
溶接		106	4.1
販売		99	3.9
CAD技術		97	3.8
農業園芸		48	1.9
電気通信設備		41	1.6
ビルハウスクリーニング		31	1.2
小型建設機械		22	0.9
建築塗装		21	0.8
自動車整備		19	0.7
美容		17	0.7
工業（窯業）		16	0.6
建設機械（クレーン運転）		14	0.5
美容		13	0.5
その他		1,034	40.3
未修了者		77	3.0

（注）73表（「25-00-73」）参照

令和7年における出所受刑者が取得した資格・免許の種類別人員は、第29表のとおりである。総数1,621人（出所受刑者総数の11.2%）の資格・免許の主な内訳を見ると、フォークリフト運転者が288人（17.8%）と最も多く、次いで、ホームヘルパーが132人（8.1%）、技能講習が114人（7.0%）、技能検定・技能照査が111人（6.8%）の順となっている。

第29表 出所受刑者が取得した資格・免許の種類別人員			
種類	類数	人員	構成比
総		1,621	100.0
フォークリフト運転者		288	17.8
ホームヘルパー		132	8.1
技能講習		114	7.0
技能検定・技能照査		111	6.8
溶接技術者		99	6.1
ボイラ技術士		99	6.1
CAD利用技術者		94	5.8
パソコン検定		63	3.9
ワープロ検定		51	3.1
危険物取扱者		46	2.8
車両系建設機械運転技能者		42	2.6
電気工事士		34	2.1
特別教習士		30	1.9
情報処理技術者		28	1.7
玉掛け技能者		23	1.4
クレーン運転士		22	1.4
理容師		17	1.0
自動車整備士		13	0.8
美容師		10	0.6
その他		305	18.8

（注）74表（「25-00-74」）参照

(4) 出所受刑者の帰住先

令和7年における出所受刑者（満期釈放者及び仮釈放者）の出所事由別の帰住先は、第30表のとおりである。総数で見ると、親族のもとが5,735人（39.6%）と最も多く、次いで、更生保護施設等が3,509人（24.3%）、知人のもとが1,226人（8.5%）の順となっている。出所事由別で見ると、「満期釈放」では、親族のもとが1,398人（24.7%）と最も多く、次いで、自宅が542人（9.6%）となっている。「仮釈放」では、親族のもとが4,337人（49.2%）、次いで、更生保護施設等が3,015人（34.2%）の順となっている。

第30表 出所受刑者の出所事由別の帰住先

帰 住 先	総 数		満期釈放		仮釈放	
	人 員	(構成比)	人 員	(構成比)	人 員	(構成比)
総 数	14,467	(100.0)	5,650	(100.0)	8,817	(100.0)
親 族 の も と	5,735	(39.6)	1,398	(24.7)	4,337	(49.2)
父、母のもと	3,534	(24.4)	767	(13.6)	2,767	(31.4)
配偶者のもと	1,123	(7.8)	321	(5.7)	802	(9.1)
兄弟、姉妹のもと	587	(4.1)	165	(2.9)	422	(4.8)
その他の親族のもと	491	(3.4)	145	(2.6)	346	(3.9)
知 人 の も と	1,226	(8.5)	418	(7.4)	808	(9.2)
雇 主 の も と	517	(3.6)	246	(4.4)	271	(3.1)
社 会 福 祉 施 設	475	(3.3)	418	(7.4)	57	(0.6)
更 生 保 護 施 設 等	3,509	(24.3)	494	(8.7)	3,015	(34.2)
上記に含まれない自宅	556	(3.8)	542	(9.6)	14	(0.2)
そ の 他	2,449	(16.9)	2,134	(37.8)	315	(3.6)

(注) 1 「満期釈放」は実刑期終了（一部猶予あり）を含み、「仮釈放」は仮釈放（一部猶予あり）を含む。
2 84表（「25-00-84」）参照

(5) 出所受刑者の懲罰回数

令和7年における出所受刑者の初入・再入別懲罰回数は、第31表のとおりである。在所時に懲罰を受けた者は5,843人（出所受刑者総数の40.3%）となっている。初入・再入別で見ると、初入で懲罰を受けた者は2,426人（出所受刑者のうち初入者総数の38.1%）であり、再入で懲罰を受けた者は3,417人（出所受刑者のうち再入者総数の42.1%）となっている。

第31表 出所受刑者の初入・再入別懲罰回数

区 分	総数	1回	2回	3回	4回	5回	6回以上	なし
総 数 (構 成 比)	14,487 (100)	2,585 (17.8)	1,030 (7.1)	543 (3.7)	331 (2.3)	250 (1.7)	1,104 (7.6)	8,644 (59.7)
初 入 (構 成 比)	6,362 (100)	1,176 (18.5)	456 (7.2)	226 (3.6)	132 (2.1)	84 (1.3)	352 (5.5)	3,936 (61.9)
再 入 (構 成 比)	8,125 (100)	1,409 (17.3)	574 (7.1)	317 (3.9)	199 (2.4)	166 (2.0)	752 (9.3)	4,708 (57.9)

(注) 79表（「25-00-79」）参照

5 休養患者 — 被収容者のり病状況

令和7年における休養患者（医師の診断を受けた者のうち、医療上の必要により病室又はこれに代わる室に収容されて治療を受けた者）の人員は、既決拘禁者（受刑者、死刑確定者及び労役場留置者）が12,743人（男11,118人、女1,625人）、未決拘禁者（被告人、被疑者など）が649人（男573人、女76人）である。

このうち、既決拘禁者についての主要病名別転帰事由別人員は、第32表のとおりである。病名別で見ると、呼吸器系の疾患が3,031人（23.8%）と最も多く、次いで、コロナウイルス感染症2019が2,481人（19.5%）、筋骨格系・結合組織の疾患が1,280人（10.0%）、消化器系の疾患が1,008人（7.9%）の順となっている。総数を転帰事由別に見ると、治癒又は

軽快が 11,325 人（88.9%）、後遺が 587 人（4.6%）の順となっている。

なお、休養患者の平均日病日は、既決拘禁者が 63 日、未決拘禁者が 200 日となっている。

第32表 休養患者の主要病名別転帰事由別人員（既決拘禁者）

病名	総数	構成比	総数	転 帰 事 由				
				治癒又は軽快	死亡	未治出所	後遺	その他
総 数	12,743	100.0	12,743	11,325	232	208	587	391
感 染 症 ・ 寄 生 虫 症	525	4.1	525	478	11	6	19	11
新 生 物	492	3.9	492	192	84	31	88	97
内 分 泌 ・ 栄 養 ・ 代 謝 疾 患	244	1.9	244	179	2	13	24	26
精 神 ・ 行 動 の 障 害	665	5.2	665	355	6	53	193	58
神 経 系 の 疾 患	179	1.4	179	151	3	8	9	8
循 環 器 系 の 疾 患	433	3.4	433	295	37	26	37	38
呼 吸 器 系 の 疾 患	3,031	23.8	3,031	2,937	25	12	35	22
消 化 器 系 の 疾 患	1,008	7.9	1,008	891	22	10	34	51
皮 膚 ・ 皮 下 組 織 の 疾 患	320	2.5	320	296	1	2	9	12
筋 骨 格 系 ・ 結 合 組 織 の 疾 患	1,280	10.0	1,280	1,221	6	11	32	10
腎 尿 路 生 殖 器 系 の 疾 患	236	1.9	236	141	7	14	53	21
損 傷 ・ 中 毒	260	2.0	260	222	8	4	13	13
コ ロ ナ ウ イ ル ス 感 染 症 2019	2,481	19.5	2,481	2,467	1	7	5	1
そ の 他	1,589	12.5	1,589	1,500	19	11	36	23
				(100.0)	(94.4)	(1.2)	(0.7)	(2.3)

- (注) 1 既決拘禁者について調査したものである。
2 「未治出所」とは、治癒に至らないうちに満期釈放、仮釈放、刑の執行停止等により出所した者をいう。
3 「後遺」とは、12月31日現在において未治癒の者をいう。
4 「その他」とは、他の矯正施設に移送になった者等をいう。
5 () 内の数字は、各病名に対する転帰事由別構成比である。
6 88表（「25-00-88」）参照

休養患者のうち、新型コロナウイルス感染症 2019 についての転帰事由別人員は、第 33 表のとおりであり、同感染症による休養患者の総数は、2,610 人（男 2,243 人、女 367 人）である。

第33表 コロナウイルス感染症 2019 による休養患者の転帰事由別人員

区 分	総数	構成比	総数	転 帰 事 由				
				治癒又は軽快	死亡	未治出所	後遺	その他
総 数	2,610	100.0	2,610	2,596	1	7	5	1
既 決 拘 禁 者	2,481	95.1	2,481	2,467	1	7	5	1
未 決 拘 禁 者	129	4.9	129	129	-	-	-	-
				(100.0)	(100.0)	(-)	(-)	(-)

- (注) 1 「未治出所」とは、治癒に至らないうちに出所した者をいう。
2 「後遺」とは、12月31日現在において未治癒の者をいう。
3 「その他」とは、他の矯正施設に移送になった者等をいう。
4 () 内の数字は、各区分に対する転帰事由別構成比である。
5 88表（「25-00-88」）及び89表（「25-00-89」）参照